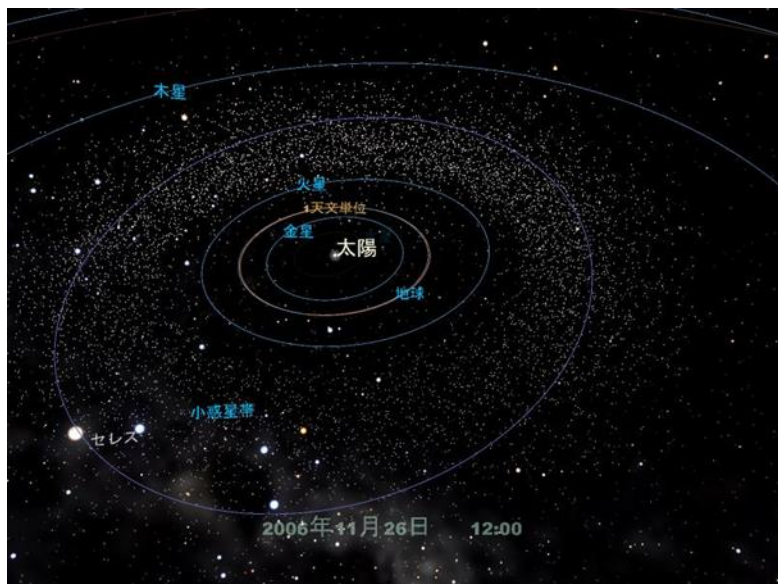


実践事例

(1) 理科「生徒自身が宇宙空間の広がりを感じ取る」

タブレットを用いて立体モデルを生徒自身が自由に拡大・縮小して様々な角度から眺めることで地球上では感じることのできない宇宙空間の広がりを感じ、国立天文台のフリーソフト『Mitaka』を用いて感じることができた。



(2) 社会「歴史の流れをとらえ資料を探して発表する」

既習事項をもとに各自がインターネットを用いた資料収集を行い、発表の準備を行うことができた。小学校での人物中心の歴史から、時代や背景まで広くイメージを持つ歴史の学習への導入として有効であった。



(3) 英語「POWER-UP10 Speaking」

タブレットを使って、実際の場面を目で見て、発音を真似て練習することにより、実際の買い物のやりとりを習得した。気になる場面を選び自分のペースで何回も再生できることで自信をもって実践にうつることができた。



Today's goal:

英語らしい発音で、()のシーンを演じよう！

(4) 自立活動「体育交流会に参加しよう」

発表の様子を自ら観察することで、よくできている点や課題を自覚することができた。また、気づきを表現・共有させることで、課題解決に向けて意識させることができた。



(5) 保健体育「ハードル走のコツをつかむ」

自分のイメージと実際の動きとの違いを客観的に理解することが容易となり、技術の修正に役立つことができた。また、仲間との撮影活動で、教え合い活動も展開されていった。

